

科目名	IT 基礎技術 Business Driven Information Systems		選択	2 単位
学期・曜日・時限	春・木・3 限	春・木・6 限	-	-
担当教員名	仙石 正和	e-mail		
	伊藤 龍史			
<p>＜講義の概要と目的＞</p> <p>本講義では、経営の場面で用いられる IT について、基礎部分の理解を図る。具体的には、技術面での基礎的説明（全体的な仕組みについて）を行いながら、経営への応用について紹介する。経営への応用に関しては、各機能分野（生産、製品開発、マーケティング、サプライチェーンマネジメントなど）における IT の役割に焦点を当て、ケーススタディを交えながら基礎的な学習を行う。上記の各点を学習した後は、各自で事例を探し（教員がケーススタディを提示する場合もある）、講義で学んだ概念や枠組みを適用する練習を行う。</p>				
<p>＜講義計画＞</p> <p>Week 3 からは、教員による講義のあと、チームプレゼンテーションを行う（各週に 1 チーム）。講義の展開（予定）は以下の通りであるが、講義の進行状況によっては若干変更する場合がある。</p> <p>1 週目：ガイダンス、イントロダクション 本講義の概略 / IT 人材とビジネス人材</p> <p>2 週目：問題解決と情報処理、情報通信技術とコンピュータ 問題解決とは何か / 情報処理とメディア / 情報通信技術 / コンピュータの機能と構成 / コンピュータの歴史 / コンピュータの種類</p> <p>3 週目：デジタル情報 アナログとデジタル / 情報の単位 / ビットパターンとコード化 ★ チームプレゼンテーション： チーム（1）</p> <p>4 週目：数値・文字の表現 2 進数と 16 進数 / 数値の変換 / 文字の表現 ★ チームプレゼンテーション： チーム（2）</p> <p>5 週目：画像・音の表現 画像の表現 / 音の表現 / データの形式と圧縮 / マルチメディア ★ チームプレゼンテーション： チーム（3）</p> <p>6 週目：ハードウェアとソフトウェア ハードウェア / ソフトウェア / コンピュータによる処理の流れ ★ チームプレゼンテーション： チーム（4）</p>				

7 週目：パソコンのハードウェア

パソコンの種類と構成 / CPU と主記憶装置 / 補助記憶装置 / 入出力装置

★ チームプレゼンテーション： チーム (5)

8 週目：アルゴリズム

アルゴリズムとフローチャート / アルゴリズムの例 / アルゴリズムの基本構造

★ チームプレゼンテーション： チーム (6)

9 週目：プログラミング

プログラミング / プログラミング言語 / BASIC 言語によるプログラミング

★ チームプレゼンテーション： チーム (7)

10 週目：ファイルとデータベース

ファイル / データベースの目的 / データベース管理システム / リレーショナルデータベース

★ チームプレゼンテーション： チーム (8)

11 週目：コンピュータネットワークの基礎

コンピュータネットワークとは / LAN / WAN / 通信プロトコル

★ チームプレゼンテーション： チーム (9)

12 週目：インターネット

インターネットの意味と歴史 / IP アドレスとドメイン名 / インターネットのサービス / 電子商取引

★ チームプレゼンテーション： チーム (10)

13 週目：情報システムの基礎

情報システムの形態と処理方式 / 情報セキュリティ

★ チームプレゼンテーション： チーム (11)

14 週目：情報システムの開発

システム開発の基礎 / システム開発の方法論 / システム開発のプロセス

★ チームプレゼンテーション： チーム (12)

15 週目：情報システムの動向

ユビキタスネットワーク社会と情報システム / ブロードバンドネットワークとモバイル通信 / クラウドコンピューティング・ユビキタス技術・スマートデバイス / ビッグデータ

★ チームプレゼンテーション： チーム (13)

<p><講義の進め方></p> <p>あらかじめ、毎回の授業で学習するスライド（またはレジュメ）を示しておく。各授業においては、それらを噛み砕いて解説するだけでなく、スライド内で触れられていないトピックや事例なども示す。また、Week 3からはチームプレゼンテーションを行う。なお、理解度を確認するために、講義時に小テスト（10分間）を行うことがある。</p>
<p><準備学習内容></p> <p>詳細は講義時に指示する。</p>
<p><教科書及び教材></p> <p>教員が作成したスライドやレジュメ</p>
<p><参考書></p> <p>武藤明則著『ビジネスのためのコンピュータ教科書』同文館出版、2014年。</p>
<p><成績評価方法></p> <p>期末レポート（60パーセント）</p> <p>チームプレゼンテーション（40パーセント）</p> <p>欠席が6回以上あった場合は、成績評価しない</p> <p>授業の円滑な進行を妨げる態度や行為があった場合は、成績評価しない</p>
<p><履修条件> 特になし。</p>
<p><DVDによる視聴> 可</p>
<p><オフィスアワー> 事前に e-mail でアポイントメントを取ってください。</p>
<p><その他> 特になし。</p>